

2019 年度(平成 31 年度)事業計画

1. 学会活動・運営の基盤強化

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

- (1) 寄附金の積極的受け入れと寄附金税額控除法人申請準備をする。
- (2) 若手研究者の拡充を図る。
- (3) 他事業団体との協働で学術研究・啓蒙活動・人材育成を推進する。
- (4) 事業・経費を見直して運営を効率化する。

2. 各種事業計画概要

(1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

会誌「ビタミン」の編集、審査等を厳正に行ない、年 11 回発行(1 月～12 月を 1 巻)する。また、公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集して JNSV(英文誌)を年 6 回発行する。

「ビタミン・バイオフィクター総合事典」発刊に向けて準備を進める。

(2) 年次大会、学術講演会

① 2019 年度第 71 回大会

開催日:2019 年 6 月 7 日～8 日

会場:とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町 101-5)

大会委員長:渡邊 文雄

大会テーマ:ビタミン学再考

主要プログラム

一般演題発表 99 題

学会賞等受賞講演

シンポジウム

「バイオフィクターについて考える

～生合成・代謝と機能性発現機構を再考する～」

「わが国におけるビタミン摂取の現状と課題」

② 2019 年度市民公開講座

開催日:2019 年 11 月 9 日(土)

会場:エル・パーク仙台(予定)

実行委員長:駒井 三千夫

テーマ:「ビタミンの力でスマートエイジング」

(3) 他事業団体との協働事業

日時:2019 年 9 月 7 日(土)9 時 50 分～11 時 20 分

会場:富山県民会館、富山国際会議場

テーマ:日本栄養改善学会・日本ビタミン学会合同シンポジウム

「ビタミン不足・欠乏の再考」

オーガナイザー:山本 浩範 仁愛大学 教授

竹谷 豊 徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授

(4) 国際交流活動

第 7 回国際フードファクター会議 (ICoFF2019) にて、Vitamins セッション共催
2019 年 12 月 1 日～5 日 兵庫県(神戸)

(5) 学術・広報活動

- ・ビタミン等についての有用な情報をホームページに掲載する。
- 各種事業の案内・募集等を、ホームページに掲載する。
- より見やすいホームページへの改善を図る。
- ・ビタミン・バイオフィクターなどに関する質問に対し正確に対応する。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 2019 年度表彰授与式 (2019 年度総会時)

学会賞 2 件、奨励賞 2 件、企画・技術・活動賞 1 件、功績者 4 名

(2) 学生優秀発表賞

年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で優秀な発表を行った者に対して授与する。

(3) 若手海外優秀発表賞

国際学会等で優秀な発表をした若手研究者を顕彰する。対象は、2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日に開催された国際学会等である。

(4) トピックス貢献賞

学会誌 93 巻において、会誌の充実及びビタミン学研究の進歩・発展のため貢献度の高いトピックスを投稿した研究者に対し賞を授ける。